

- ・深度109.16～109.18mの「細礫混じり粘土状」と記載の箇所については、軟質で、細粒部の連続性及び直線性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらことから断層ガウジであると判断した。
- ・深度109.18～109.30mの「粘土質礫状」と記載の箇所については、硬質で、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらことからカタクレーサイトであると判断した。
- ・深度109.30～109.32mの「礫混じり粘土状」と記載の箇所については、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織は認められないが、硬質で、細粒部の連続性及び直線性が乏しい。これらことからカタクレーサイトであると判断した。
- ・深度109.32～109.46mの「粘土混じり礫状」と記載の箇所については、硬質で、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらことからカタクレーサイトであると判断した。

ボーリング柱状図

●109.16～109.46m：破砕部 (D-I破砕部)
 109.16～109.18m：細礫混じり粘土状部 (Hc-2)
 傾斜75°。明緑灰色を呈する。幅2～10mm。
 109.18～109.30m：粘土質礫状部 (Hb)
 傾斜75°で直線的に連続。径2～30mmの礫主体で細粒部が分布する。変質が著しく、明緑灰色を呈する。幅60mm。
 109.30～109.32m：礫混じり粘土状部 (Hc-2)
 上端75°、下端80°。明緑灰色を呈する。幅10～20mm。
 109.32～109.46m：粘土混じり礫状部 (Hj)
 上端80°でやや波打って、下端80°で湾曲して連続。下端には幅1mmの白色粘土を伴う。径2～30mmの礫主体で細粒部が分布する。明緑灰色を呈する。幅60mm程度。

コア写真



凡例
 断層ガウジ
 破砕部範囲※
 ※：写真上は白色で記載



・薄片は断層面 α 及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。作製方向は条線を計測できていないため、鉛直方向及び水平方向の2方向とした。

コア写真

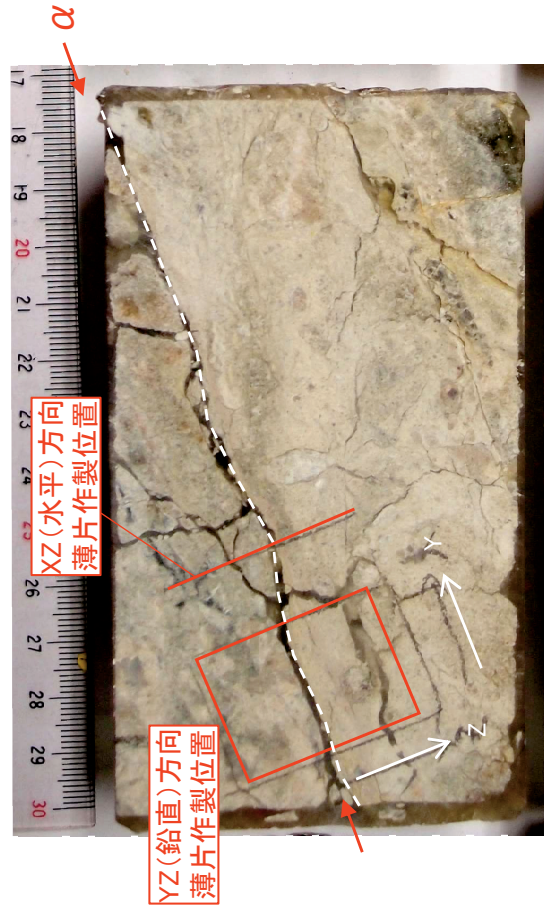
※断層面 α は最新活動面



凡例

- 断層ガウジ
- 断層面
- 破碎部範囲※
- ※: 写真上は白色で記載

薄片作製位置写真



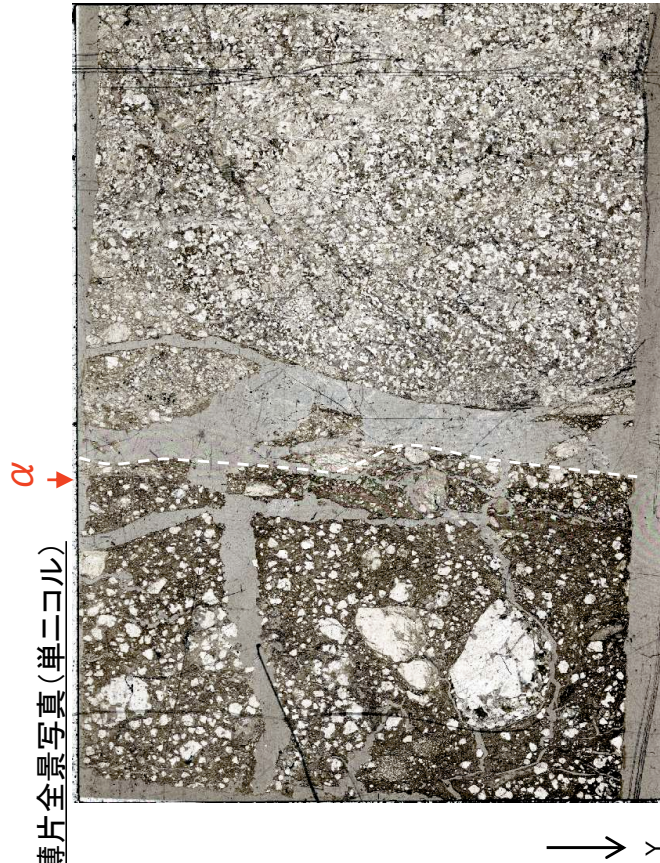
Y: 傾斜方向 (下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向 (上盤側を正とする)

凡例

- 断層面
- 肉眼観察で相対的に細粒化が進んだ範囲※
- ※: 写真上は白色又は黒色で記載

5 cm

薄片全景写真 (単ニコル)



Y: 傾斜方向 (下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向 (上盤側を正とする)

1 cm

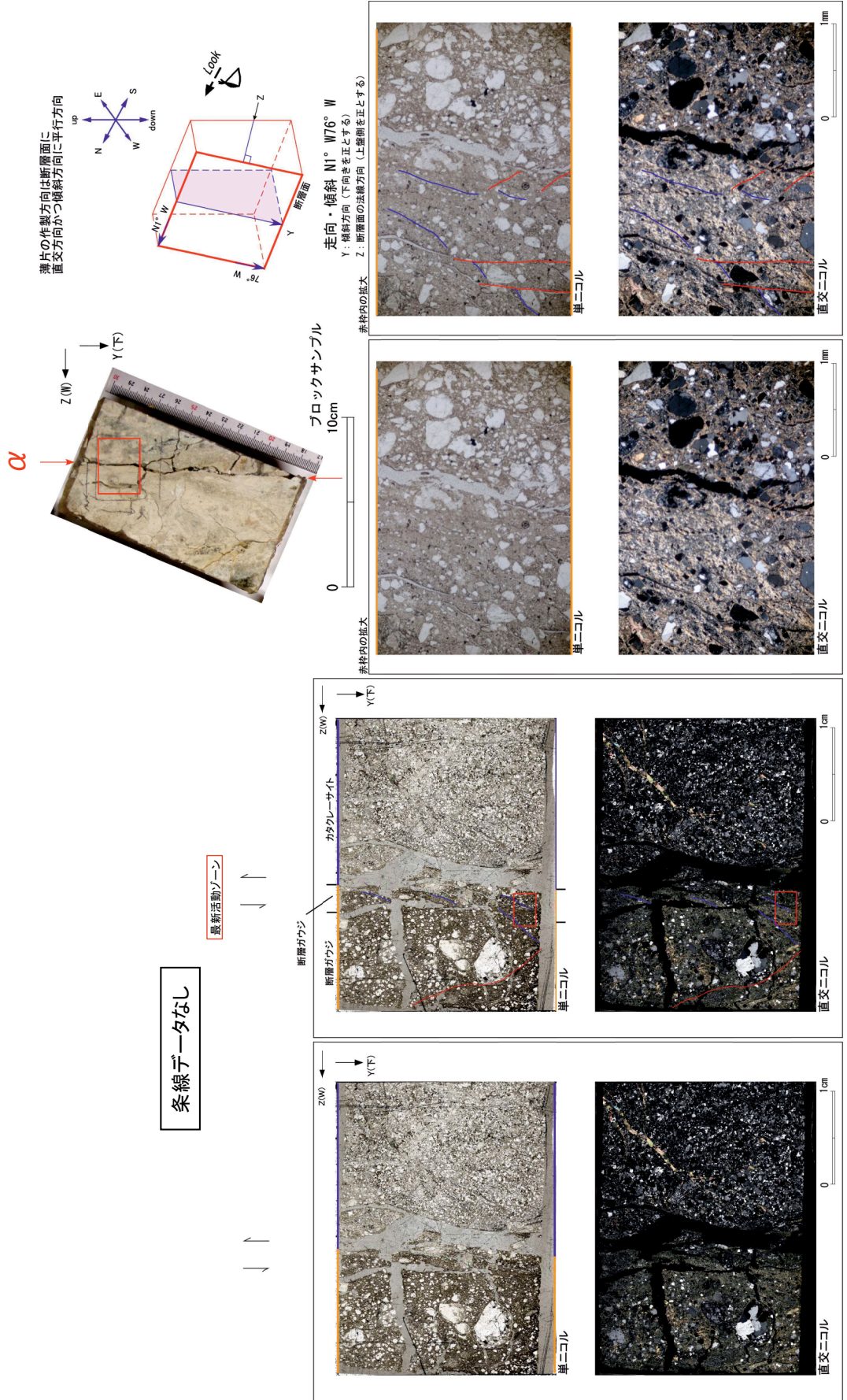
・H24-B14-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば、最新活動ゾーンの変位セシスは正断層面によれば右ずれを伴う。

・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、断層ガウジと判断した。

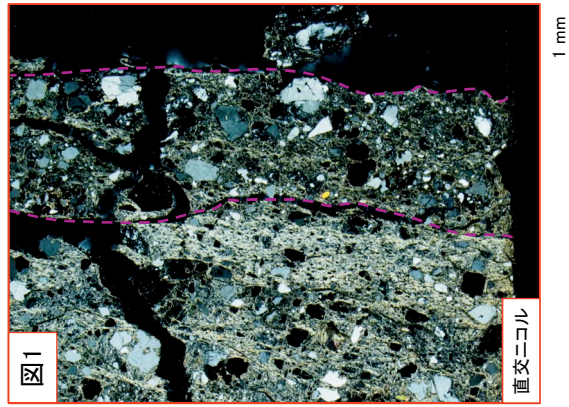
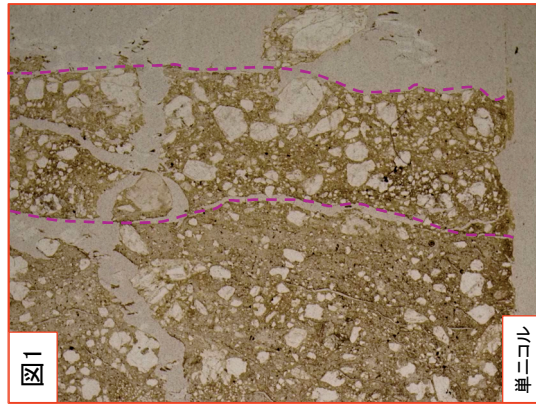
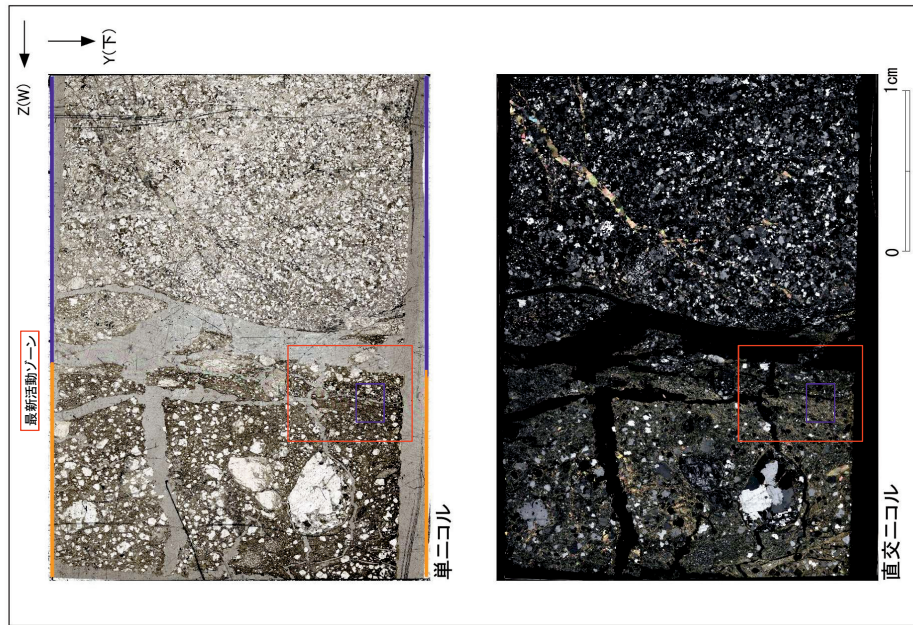
- (断層ガウジ) 基質は粘土鉱物を主体とする。
- (断層ガウジ) 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- (断層ガウジ) 丸みを帯びている岩片が多い。

条線データなし

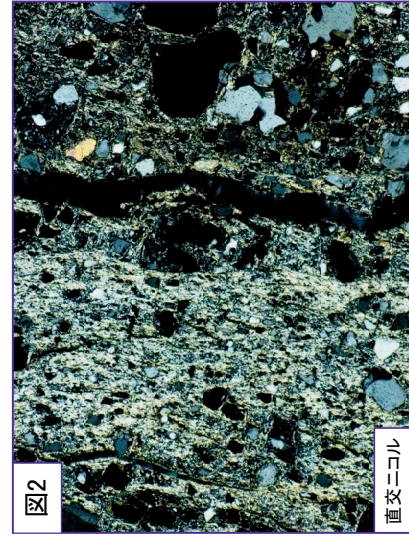
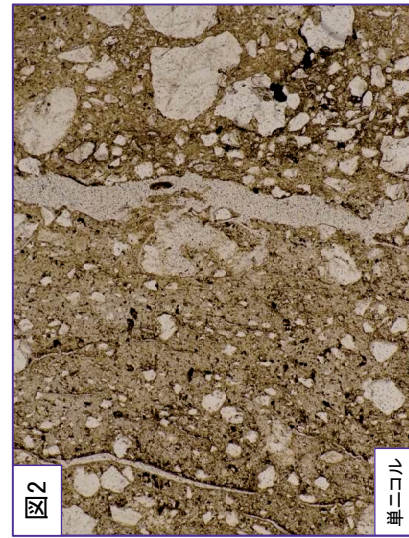
最新活動ゾーン



- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)



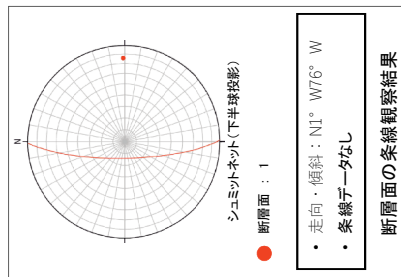
破線は帯状で直線的な粘土状部の範囲を示す



凡例
断層ガウジ
カタクレーサイト

・H24-B14-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位セシスは、右ずれで、鉛直断面と合わせると右ずれセシスを伴う正断層である。
 ・最新活動ゾーンには、断層ガウジとカタレーサイトの特徴が認められるが、カタレーサイトの特徴は、カタレーサイトが断層ガウジに取り込まれたものと考えられることから断層ガウジと判断した。

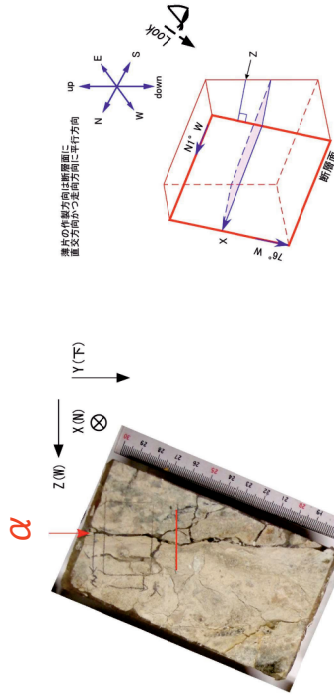
- (断層ガウジ) 基質は粘土鉱物を主体とする。
- (断層ガウジ) 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- (断層ガウジ) 丸みを帯びている岩片が多い。
- (カタレーサイト) 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。



最新活動ゾーン

水平断面：断層面の変位セシスは、右ずれ成分が卓越する。

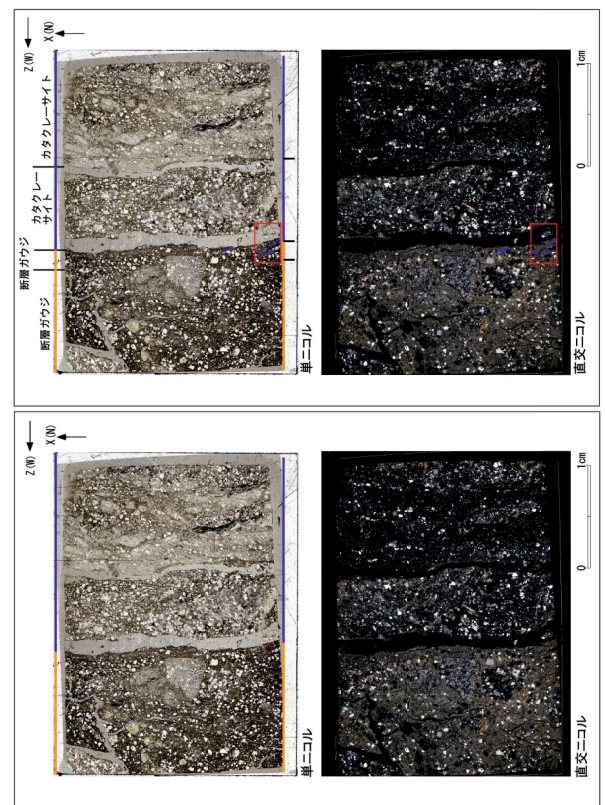
※断層面 α は最新活動面



※岩薄片はV面、薄片作製面は研削片に直交するZ面

走向・傾斜 N1° W76° W
 X : 走向方向 (北向きを正とする)
 Z : 断層面の法線方向 (上向きを正とする)

0 10cm
 系統内の基底
 フロックサンプル



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタレーサイト
 - R1面
 - P面

第7.4.4.309図 (5) 破碎部性状 H24-B14-2 深度109.16~109.46m (変位セシス, 薄片観察による断層岩区分(1/3))